

## 令和7年度第2回伊勢原市介護保険運営協議会 議事録

〔事務局〕 保健福祉部 長寿介護課・地域福祉推進課

〔開催日時〕 令和8年2月5日（木）午後3時から午後4時55分

〔開催場所〕 伊勢原市子ども科学館会議室

〔出席者〕

（委員）

岡本会長、梶浦委員、青木委員、佐野委員、小俣委員、和田委員、古川委員、石塚委員、種村委員、古川委員、清水委員

（事務局）

石井保健福祉部長

長寿介護課 平井参事兼課長、小形係長（介護認定係）、濱田係長（高齢者支援係）、

地域福祉推進課 新堀担当課長

〔公開可否〕 公開

〔傍聴人〕 0人

《審議の経過》

1 開会

2 議題

（1）第10期伊勢原市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に係るニーズ調査について

－ 事務局より説明 －

（会長） ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がございますか。

（委員） 「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の完成はいつ頃になるのか。

(事務局) 計画自体は令和9年3月(令和8年度末)を予定している。計画の改定に伴い、介護保険料の改定も行うことになるが、こちらは議会での議決が必要となるため、冊子の配布は令和8年度末～令和9年度初めになるかと思う。

(委員) 食事内容(例:肉、魚、卵、豆製品などのタンパク質を含む食品の摂取回数)についての質問が入っていて良かった。別の質問項目でも介護予防のために取り組んでいることとして、食事の回数や量、栄養バランスに気をつけているという回答が6割となっていたが、どのような食事内容なのかが気になる。食事内容の質問項目クロス集計を行い、分析してもらえると良いと思う。

(事務局) いただいた意見を踏まえ、集計を行いたいと思います。

(委員) 今回の報告は、中間報告ということだが確定版の報告は次年度の運営協議会で行われるという理解で良いか。

(事務局) 令和8年度1回目の運営協議会で報告させていただければと考えている。

(委員) 庁内にも様々な計画がある。例えば、健康づくり課の計画は市民全体が対象ではあるが、近い内容のものもあると思う。計画の素案については、庁内の計画とも整合性を図りながら作成してもらいたい。

## (2) 介護保険事業の地域分析について

－ 事務局より説明 質疑なし－

## (3) 令和8年度伊勢原市地域包括支援センター運営方針(案)について

－ 事務局より説明 －

(会長) ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等はございますか。

(委員) 運営方針(案)とあるが、この(案)を削る手順はどうしているのか。

(事務局) 運営協議会でご意見をいただき、最終的な決定は実施主体である市が行うこととなる。

(委員) 包括支援センターでは、様々な業務を行っていると感じた。業務内容に対してマンパワーが不足しているように思うが、増やすことは難しいのか。

また、議題1のニーズ調査報告の内容になるが、介護予防教室への関心が思った以上に低いと感じた。課題として認識しているものはあるか。

(事務局) 支援が必要な世帯が増えているので市としてはなるべく動けるようにと考えるが、各包括支援センターの運営法人も人材の確保には苦慮していると聞いている。増やせるように検討したい。

介護予防教室への関心についての回答内容は、事務局としても驚いているところではある。周知が不足しているのか、他に理由があるのかを分析していきたい。

#### (4) 介護保険認定状況等について

－ 事務局より説明 －

(会長) ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等はございますか。

(委員) 介護認定を受けていない人への支援が課題となっている。どのような支援をしたら良いのか。

(事務局) 近隣だけでなく、地域住民を巻き込んだ取組が必要と考える。支援が必要そうではあるが、関わりが難しいというような場合は市などへ相談いただければと思う。

#### (5) 生活支援体制整備事業について

－ 事務局より説明 －

(会長) ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等はございますか。

(委員) 自分の住んでいるエリアでは、受診などで外出する際の手段がないという人が多い。受診が必要でもバスの時間などがあり、我慢することもあると聞いている。市が主体で何かしてくれないと難しいのではと思っていたが、他の地域では自主的に行っている事例もあると感じた。

(事務局) 各地域で行っている事例は他の地域の包括支援センターにも共有しているが、各地域で事業検討を行う際のきっかけになるようなメニューの情報提供などを

行っていきたい。

市としても、高齢者の移動については課題として認識をしているが、各地区で状況や課題に違いがあり、全ての地区に対応する仕組みというのは難しい。取組が地域頼りになってしまっていることは承知している。

(委員) 包括支援センターから移動手段についての相談があった。移動の手段があれば、介護保険を利用することなく地域で生活ができるが、その手段がないため、デイサービスの利用などを検討している人もいる。

デイサービスの事業所を運営しているが、事業所の車両は日中空いているのでその車両の活用を検討する方法もあるのではないか。

### (6) 地域ケア会議について

－ 事務局より説明 －

(会長) ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等はございますか。

(委員) 個別避難計画については、時間をかけて考えていく必要があると思う。大きな災害の時には自分のことだけで精一杯になり、支援が必要な人にまで気が回らないのではないか。

(委員) ペットを飼っている高齢者の方も多い。「ペットがいるから避難所には行けない」という人もいる。ペット同伴で避難する方法もあるが、その際的生活用具などは自分たちで考えておく必要がある。こういうことも個別避難計画の中に落とし込むと良いかもしれない。

## 3 閉会（事務局）